

令和5年版環境白書

第1章 人と自然との共生の確保

1. 生物多様性の保全

(1) 野生動植物の積極的な保護と適切な管理

- ⑦ 三瓶自然館サヒメルや宍道湖自然館ゴビウス、しまね海洋館アクアスの機能の充実（希少生物の標本や情報の収集など）

(1) 事業目的

自然公園などのフィールドや自然体験学習の拠点施設を活用して、自然とのふれあいや自然資源の持続可能な利用などについて学ぶ機会を提供します。

(2) 取組状況

① 自然系博物館の機能の充実

三瓶自然館サヒメル、宍道湖自然館ゴビウス、しまね海洋館アクアスなどの自然体験学習の拠点施設や自然公園などのフィールドを活用して、自然とのふれあいを楽しんだり、生き物との接し方や自然資源の持続可能な利用などについて学ぶ機会を提供しました。

三瓶自然館、宍道湖自然館、しまね海洋館の管理運営にあたっては、それぞれ、公益財団法人しまね自然と環境財団、公益財団法人ホシザキグリーン財団、公益財団法人しまね海洋館を指定管理者とし、自然教育の場として利用の促進を図るとともに自然環境に関する調査研究や環境教育に努めました。

また、三瓶自然館、しまね海洋館、宍道湖自然館では、新型コロナウイルス感染症の影響により減少した入館者の回復・拡大を図るため、展示機能の充実や施設改修など、施設の魅力アップ・充実を図りました。

【担当課】

所属名	問い合わせ先
(主) 自然環境課 しまね暮らし推進課 水産課	0852-22-5724